新宮しんきん世界遺産応援募金会について

新宮信用金庫

「新宮しんきん世界遺産応援募金会」は当金庫役職員約 100 人で組織され、世界遺産に登録された地元熊野の環境保全のため、平成 16 年 9 月に設立されました。以降役職員が毎月募金を続け、毎年 1 回、世界遺産として登録された「紀伊山地の霊場と参詣道」の維持、管理、広報及びボランティア団体等の支援を目的としています。

令和元年度は、各営業店から推薦された団体の候補の中なら、令和 4 年 9 月 28 日（水）下記の団体を選出し表彰させていただきました。

本店営業部推薦団体

一般財団法人　熊野川町ふれあい公社

代表理事　下阪　殖保

表彰式の様子

表彰者紹介

同社は世界遺産として世界で唯一認められた「川の参詣道」である熊野川を船頭と語り部付きの木船で下る観光体験事業を実施しています。　当地域が世界遺産の登録された 2005 年 9 月より事業をスタートさせていたが、コロナウイルス等の影響もあり運行を休止、今年の 3 月から運行を開始しています。かつて、都の貴族たちが参詣のために熊野川を川で下ったその体験を守り、これからも世界の方々に体験してほしいと活動している団体です。

和歌山、三重、奈良の 3 県にまたがる景勝地「瀞峡」は国の天然記念物で、その景観を見せることができる唯一の団体です。3 月より運行は再開されたものの、川に流入する土砂問題、新型コロナウイルス感染症の影響による観光客の減少、作業員の高齢化などまだまだ過大も多く、今後も運行を続けていく為には、地元の協力も必要であります。また、お客様の受け入れ態勢を拡充し、日本はもとより世界の方々にこのすばらしい世界遺産「熊野川」の良さを知って頂き、後世に伝えていく為にも、当店としては是非支援したく推薦するものです。

以上

本取組みは、SDGs（持続可能な開発目標）のゴール１７
「パートナーシップで目標を達成しよう」につながる取組みです。

新宮信用金庫